



学校だより

# わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

№ 9

令和3年6月22日

## 3年食育 『しっかり食べよう朝ごはん』



6月14日（月）の3，4限に，3年生が北川栄養教諭と担任による食育の授業を受けました。授業では，「朝ごはんを食べたか，食べなかったか」を振り返ってワークシートに○をつけたり，「朝ごはんを食べないとどうなるか」を考えて発表したりしました。

また，「朝ごはんの働き」

についてみんなで考え，朝ごはんの大切さを知りました。そして，「どうしたら朝ごはんをしっかり食べることができるのか」を考え，早起きすることで時間に余裕が生まれて，朝ごはんをゆっくり食べることができることから，朝の時間や生活全体の見直しが必要であることに気づきました。



## 3年生が校区探検を行いました



6月15日（火），17日（木）の2日間に分けて3年生が若松の町を探検しました。班ごとに1台クロムブックをもって出かけました。ポイントとなる場所で方位を確認して東西南北の4方向の写真を撮影しました。2日間とも大変暑い日でしたが，集団行動のルールを守って，熱中症にならないように水分補給や休憩をしながら最後まで歩きました。

普段何気なく通っている場所でも注意深く見ると新しい発見があったようです。この日に発見したことをまとめて学習に活かしてほしいと思います。そして，自分たちの住む若松の町をより深く学習しましょう。



# 光太夫太鼓引継ぎ式



6月17日(木)の2限目に、体育館において光太夫太鼓の引継ぎ式を実施しました。大黒屋光太夫顕彰会から3名の方と地域コーディネーターの樋口さんに来校いただきました。最初に、顕彰会を代表して神保さんから「この伝統ある光太夫太鼓の取組をしっかりと引き継いでほしい」とご挨拶をいただきました。そして、6年生が

「光太夫太鼓」を披露しました。今年度も、新型コロナウイルス感染症対策として、マスクを着用して、体育館のフロアで間隔をとったり、大きな声を出すところは、マイクを使ったりして演奏しましたが、6年生の演奏は、しっかりと1年間取り組んできた成果が発揮された力強いものでした。演奏後に5年生の多くが、演奏の力強さやすばらしさについて感想を發表していました。6年生から、演奏をする上での具体的なアドバイスがあり5年生もそれを受けて、「全力でがんばる」という気持ちを持ってくれたと思います。

5年生は、6年生の熱意を受け継いで、自覚と責任をもって伝統を守ってってください。大黒屋光太夫顕彰会の皆様をはじめ、地域の方への感謝の気持ちを忘れず取り組んでください。今後の状況にもよりますが、鈴鹿市小学校音楽会やふれあいフェスタ若松で練習の成果を存分に発表できるように期待しています。



## ～あいさつの大切さを考えよう～

最近、PTAの登校指導日誌をみると、「あいさつの声が小さい」「あいさつをしても返してくれない」という言葉がみられます。私も、毎朝、北門から出た交差点に立っていますが、4月の始めと比べると、少し元気がないように思います。一方で、変わらずに気持ちのよいあいさつができる子もたくさんいます。元気な声が響くとパワーをもらいます。

では、あいさつは何のためにするのでしょうか。辞書で調べてみると、「自分の心を開く」という大切な意味があります。他人に対して尊敬や親愛の気持ちを表す動作、言葉などを意味するようになってきました。あいさつは、その人の姿勢であり、心構えの表れです。声に出してあいさつすると、相手との距離が近くなり、人間関係がよくなります。あいさつの大切さをもう一度確認して、毎日の習慣にしましょう。

「相手の目を見て、自分から先に、声に出してあいさつをする。」この行動を続けるだけで、きずながどんどん深まります。